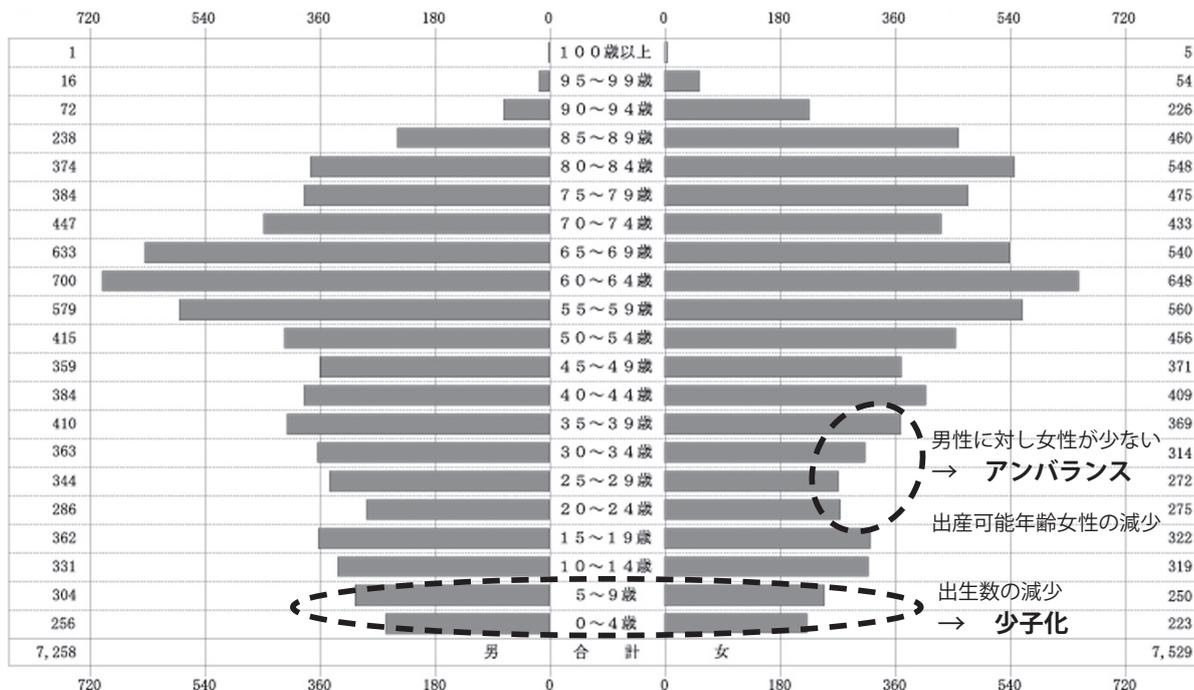


～人口減少の振興にできる限りの歯止めを～

日本の人口については、2008年（平成20年）1億2,808万人をピークに減少に転じましたが、白鷹町の人口は、戦後の昭和22年（28,390人）をピークに減少し続けています。

直近の国勢調査（H22）では、15,314人となっていますが、その人口を基に推計した25年後の平成52年には白鷹町は1万人を切ることが予想されています。人口の減少と共に生産年齢人口割合も減少することが予想され、現在続いている若年層（特に女性）の町外への人口流出が継続し、出生率がこのまま改善されなければ、推計値はさらに厳しいものとなります。現在の町全体の年齢構成を見てみると…

◆白鷹町 年齢階層別人口ピラミッド(平成27年4月1日現在) ※外国人を含む



団塊の世代が多く、年齢が小さくなるにつれ人数も減っています。20～30代の女性が極端に少なくなっているのも特徴的です。

人口維持には、若年層（特に女性）の人口と出生率が重要なカギとなります。若年層の定住には、雇用が大きく影響することから「雇用の質・量」の確保・向上が条件となります。また、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる必要があります。

アイデアをお寄せください！～広報直通便(ハガキ)をご利用ください～

地方創生に関する町民の皆様からのご意見やアイデアを募集しています。人口減少と少子高齢化に歯止めをかけ、地域に活力を取り戻す「地方創生」に関わる内容をお待ちしております。テーマは自由ですが、次の観点でお考えください。

1 地域経済活性化

雇用(しごと)の創出、人材確保、新規学卒者の就職支援、産業競争力強化、6次産業化など

2 移住・交流・コミュニティ活性化

Uターン・移住推進、若者の定住、観光振興、住宅支援、空き家利活用、郷土愛の醸成、魅力あるコミュニティづくり など

3 少子化対策

妊娠・出産・子育て支援(医療、保育等)、結婚支援、女性の活躍推進 など

※お寄せいただいた内容は、策定委員会を中心に進めている総合戦略策定の参考とさせていただきます。

ご意見は
7月末日
まで

企画政策課企画調整係
☎ 85-6123